

案

資料 3 - 3

令和 3 年 8 月 2 3 日

千葉市長 神谷 俊一 様

千葉市新基本計画審議会
会長 轟 朝幸

公共事業再評価について（答申）

令和 3 年 7 月 1 5 日付 3 千政調第 9 2 号により諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

1 審議対象事業

都市計画道路事業 塩田町誉田町線（塩田町地区）

2 審議経過

千葉市新基本計画審議会公共事業再評価部会は、令和 3 年 8 月 2 3 日に開催し、再評価対象事業について、千葉市から再評価の内容とそれに基づく対応方針（案）について説明を受け、慎重に審議を行った。

3 審議結果

審議対象事業について、千葉市の対応方針（案）「継続」に対し、千葉市新基本計画審議会の意見は次のとおりである。

事業（路線）名	所管部局	再評価実施理由	千葉市対応方針 （案）
都市計画道路事業 塩田町誉田町線 （塩田町地区）	建設局道路部	再評価実施後、5年間の経過した時点で継続中の事業	継続

千葉市新基本計画審議会の意見

【再評価の内容と対応方針（案）に対する意見】

再評価の内容と対応方針（案）は適切であると判断する。

本路線は、既供用部が市東南部方面からの主要な道路として利用されており、将来的にも令和5年に無料化される千葉外房有料道路と連携して茂原方面へのアクセスが向上することから、外房方面からのさらなる交通需要が見込まれている。しかしながら、当該区間が未整備である為、改良が進む国道357号へのアクセス機能が十分に発揮されていない状況にある。

そのため、当該未整備区間を整備することにより、市の以東・以南の地域との連携を図る「ちば共創都市圏」の形成に資するとともに、東南部と臨海部との連絡強化が図られ、地域高規格道路である千葉中環状道路が概成することで、千葉都心部の渋滞緩和が期待でき、交通改善による直接的な効果を予測する費用便益分析では、事業費を超える投資効果が認められる。

また、国道357号と京葉道路蘇我インターチェンジとを繋げることによるアクセス強化により、蘇我副都心の育成強化のほか、千葉港関連物流の効率化による千葉港の発展が期待される。

防災面では、緊急輸送道路である京葉道路・国道16号と国道357号を塩田町で繋ぐことにより多重性、代替性が確保されるとともに、近接する広域防災拠点である蘇我スポーツ公園に係る災害時における救援、復旧、復興活動での活用も期待されることから、さらに高い事業効果が見込まれる。

また、令和元年度にJR内房線との交差構造を地下道形式から橋梁形式に見直すことで事業費削減を図り、土地所有者等の理解も得ながら進めている状況であるなど、取組みについて一定の評価ができることから、引き続き、事業費削減の工夫を図りながら、本事業の早期完了を目指していただきたい。